

## 5. 町全体の交流拠点施設及び周辺地域の再整備方針

- 前述の主要課題を踏まえ、本町における交流拠点施設の再整備に向けた方針を次のように設定します。
- なお、本構想の目標年次は、第二次越前町総合振興計画と同じく平成 37 年度を想定しますが、再整備に向けた個別具体の施策については、短期・中長期の視点で整理し、できることから着手していくものとします。

### 交流拠点施設及び周辺地域の「再整備」と 「ネットワーク化」による観光立町の実現

#### ① 交流拠点としての機能の維持・向上

- ・ 不足機能の充実や既存機能の維持・向上を図るためのハード面での再整備

#### ② 本町ならではの「ブランド力」と「おもてなし」の向上

- ・ 外国人を含む多様な観光客の誘客と満足度向上を目指したソフト面での再整備

#### ③ 交流拠点へのアクセス性と拠点間の回遊性の向上

- ・ 町外からのアクセスと町内の回遊性の向上を図るためのネットワーク化

#### <基本的な考え方>

- 本町は、「見る」「触れる」「食べる」「癒す」など多様な観光資源を有し、年間 200 万人以上もの観光客が訪れる福井県内有数の観光地となっています。
- 平成 27 年 10 月に策定した「越前町総合戦略」では、「観光立町を目指した観光産業の育成」を重点施策の一つとして掲げており、観光資源を活かした新たな誘客戦略の展開と、それを支えるハード・ソフト両面の取組が求められています。
- 町内の交流拠点施設では、一部の施設で老朽化が進んでおり、再整備や周辺整備の時期を迎えています。また、平成 26 年 11 月にリニューアルオープンした道の駅「越前」を拠点とする越前地区には多くの観光客が訪れている一方、他の地区への波及効果に乏しい状況であり、拠点施設間のネットワーク化による観光商品・サービスの開発が求められています。
- これらのことから、交流拠点施設及びその周辺地域の「再整備」を進めることで、本町における「交流拠点」として個々の魅力を高めるとともに、それらを「ネットワーク化」することで、より一層の観光振興を図り、観光立町の実現を目指します。